



かどや通信

第28号

発行日：平成30年9月

発行行：かどや保存会

発行責任者：寺田 直喜／編集：廣野 克子

見ているだけで、にっこり、ほっこり 羊毛フェルト展「メグのこころ」動物園

九月の展示は、鳥羽市在住の園田めぐみさん制作の「メグのこころ」動物園」と題した羊毛フェルトの作品展だ。

羊毛フェルトとは、羊毛を特殊な針でつくつこと、繊維をからめながら形を作っていく手芸の一種。多様な色に着色された羊毛を組み合わせて、動物や食品等を作っていく。

今回は、園田さんが大好きなハムスターをはじめ、ミニブタやうさぎ、かわうそ、「ハリー・ポッター」に登場するハリリーの相棒ヘドウィグと同種の白ふくろう等、十種類のかわいい動物たちが春夏秋冬をイメージした雰囲気の中に展示されている。春のコナーには母大福等の和菓子も添えられており、展示の仕



方にも作者のセンスが光っている。また、羊毛フェルトの作り方をわかりやすく解説したコナーや、人気アニメのキャラクターのコナーも



ならば自分で作ってみようと思っただのがきっかけのこと。

今年三月から暇な時間を利用して、かどやにボランティアとして来てくれていることから、今回の展示の運びとなった。展示が決まったのは五月で、以来時間が空くとかどやでもコツコツと針を刺していた。

羊毛フェルトの経験者は「丸くするだけでも大変なのに、愛くるしい表情や今にも動き出しそうなくさに感動しました」と、作品の完成度の高さに圧倒されていた。



あり、見学者は「キヤ、かわいい！」
「見ているだけで癒される！」と実に楽しそうだ。

園田さんが羊毛フェルトを作り始めたのは三年前。動物が大好きと言う園田さんだが、自宅でペットがかえなかつたため、

あの日に帰りたい！

人生を振り返って「あの頃にかえりたい」と思うことはありませんか。

夏休みのある日、こんな会話を耳にした。「あの頃はよかったなあ」「そうやなあ、あの頃にかえりたいなあ」としみじみ話すのは、なんと寺子屋に通う小学4年生と2年生の会話だった。二人が帰りたいのは幼稚園時代。「宿題もなくて、楽しかったなあ」と続く。

一人の会話を聞いた時は、子ども達のせりふとは思えず、我が耳を疑った。しかし、大人から見れば短い期間でも、子ども達なりに歩んできた歴史があり、懐かしむ思い出があるのだと、気づかされた。

かどやでは、「あの時は楽しかったなあ」と思ってもらえるイベント作りをスタッフ一同、常々考えている。

特に、子ども達は将来鳥羽を離れることもあるだろうが、遠くからでも、鳥羽に帰ってきた時でも「あの時かどやで遊んで、おもしろかった」と思い出してもらえたら、「こんなに嬉しいことはない。寺子屋やワクワク子ども塾（2ページに掲載）に参加した子ども達にもそんな風に思い出してもらえたい」と思っているだろうか？

いやいや、子どもに限らず、かどやを訪れた人達が人生を振り返る時、かどやで過ごした時間を懐かしく思い出してもらえたいだろうか？ 楽しかったと思える瞬間が多い程、豊かな人生だと思いが、かどやはそんな思い出作りの役に立っているだろうか？

夏休みの思い出作りにわくわく！ 寺子屋&子ども塾

夏休みには、子ども達にかどやを体験してもらおうと「かどやで寺子屋」や「かどやワクワク子ども塾」を開催している。

今年も小学一年生から中学二年生がかどやで様々な体験に挑んだ。

《寺子屋の夏は和気あいあい》

クーラーの効いたかどやの座敷で、子ども達が宿題に取り組み寺子屋も今年で六回目。七月二十三日から八月十日までの平日の午前中に延べ九十五人が参加した。

平成二十五年から二十七年は鳥羽小学校の生徒が対象だったが、二十八年と二十九年は安楽島と加茂の小学生にも声をかけたところ、一昨年は延べ百六十名、昨年は二百八名が参加した。

しかし、スタッフが変わったこともあり、寺子屋体制を見直した結果、対象を鳥羽小学校に戻し、定員も十一名に限定した。その結果、六年生6人を中心に、1年生から4年生までの6名が参加した。慣れるに従って上級生が下級生の面倒をみるなどクラブ活動のような楽しげな雰

囲気が生まれた。そのため、わいわいと騒がしいこともあったが、周りかどんなにざわついていてもしっかりと勉強に集中する子もいた。今回は、スタッフの目が届くこともあり、挨拶と靴をきちんとならべるところを徹底し、礼儀作法にも力をいれた。

今年も子ども塾で思い出作り

「かどやワクワク子ども塾」は、夏休みにかどやで楽しい思い出を作ってもらおうと平成二十七年から実施している。

今年、八月三日に「モザイクタイルでコースターを作ろう」、八日には昨年大好評だった鳥羽水族館の杉本幹学芸員による「海の生物の話、その2」、二十二日には鳥羽まちなみ水族館の協力を得て「お魚工作とフルーツポンチ作り」が行われた。

三日のコースター作りには小学一年生から六年生までの十五人が参加した。約十センチ四方の木枠の中にモザイクタイルと呼ばれる小さな装飾用タイルで花や動物、幾何学模様等を配置するのだが、色も多々あり、形も円や半円、三角、四角等様々な



おり、前半の会場はシーンと静まりかえっていた。それぞれに個性が光るコースターが出来上がると、後半は互いに完成品を見せ合っ、緊張感がほぐれ楽しげな雰囲気となった。

ため、タイル選びも簡単ではない。完成図をイメージしながらタイルを選び、慎重に配置するため、一年生といえども集中して

八日は、ZTVでも人気の杉本さんの講演とあつて大人を含む二十五人が参加した。今回は、オットセイアシカ、クジラ等、海の大きな生物の話に始まり、世界で一番大きな生物等についても、クイズを交えながら解説してくれた。クイズでは小学一年生が非常に詳

しく、周りを驚かせる一幕もあった。今回も杉本さんの巧みな話術に引き込まれ、全員が熱心に聴き入っていた。



二十二日は毎年恒例の人気プログラムで、十五人が参加した。まず、白玉入りフルーツポンチを作り、冷やしている間に工作をし、最後にフルーツポンチを試食するのだ。当日は、台風20号が接近していたが、幸いにも昼間は晴天に恵まれた。

フルーツポンチ作りは、学年別に①白玉作り②パイナップルとバナナのカット③缶詰の缶切り④スイカの実のくり抜きの4班に分かれ、それぞれにかどやのスタッフが付つきり指導した。その後、庭で鳥羽まちなみ水族館(代表・水谷伸子さん)のメンバーのアドバイスを受けながら、貝殻と色粘土を使った作品作りに挑戦した。モザイクタイルのコースター作り同様、作品には個性が表れ、夏の思い出には、ヒタタリの素敵な作品が出来上がった。



作品作りで汗をかいた後は、甘くて冷たいフルーツポンチを食べて、かどやの夏のイベントは幕を閉じた。

様々な展示が続々と!

かどやでは、毎月様々な分野の作品を展示している。七月と八月の主な展示を紹介しよう。

《生命の輝き》

生きものへの感謝を表現》

七月十二日から二十九日には、「絶滅危惧種の生き物と可憐な花たち」と題した北井誠也さんの写真展と、住屋美光さんの筆ペンアート「笑顔が伝えるありがとう!」のふたり展が行われた。



プロカメラマンの北井さんは、伊勢志摩地域に生息する植物や昆虫等の写真を展示。今回の被写体は、かつては我々の身近にいたが、環境の変化によって、今や絶滅危惧種となったものだ。北井さんは約十年前からこれらの生物を撮影しているが、すでに撮影場所からは姿を消したこともあるそうだ。

カメラマン仲間の一人は「シャッターチャンスを忍耐強く待たないと撮れない写真が多く、

北井さんならではの作品だ」と話す。野山を背景にした昆虫や草花には輝くような透明感があり、見学者の足を止めさせていた。

一方、筆ペンアートに取り組んでいる住屋さんは、病気のため二十三歳で車いす生活を余儀なくされた。十代の頃は運動が得意な活発な少



女だったそうだが、車いす生活にめげることなく、作品には感謝や

前向きな言葉があふれている。

筆ペンアートは、四年前から独学で始めたそうだ。はがき一枚ほどの和紙に様々な思いを書き綴っている。今回は、これまでに書き溜めた和紙の作品約百四十点に加えて、石に思いをしたためたものも十一点展示した。「笑平くん」と名付けられたオリジナルキャラクターもほのぼのとしていて「見ていると、暖かい気分になる」と好評だった。

《米寿記念の木工展!》

からくり人形が大人気》

八月五日から二十六日までは、



「永遠の童心 早田孜作品展」が開催された。伊勢市在住の早田さんは、物作りが大好きで、五十歳頃から能面や玩具、仏像等の木工細工をはじめ帆船

やからくり人形等を制作してきた。今年米寿を迎える記念にと、これまで作りためてきた膨大な作品のうち約百点を展示したが、見学者はまずその点数の多さに圧倒されたようだ。また、旅行先の土産物店で見かけたのがきっかけで始めた「からくり人形」には、早田さんのユーモアのセンスと工夫が光り、大人気だった。触って動かしてもよいことから、大人も子供も楽しそうに動かしていた。

《女子美大生が帰ってきた!》

昨年八月に女子美術大学の非常勤講師リンダ・デニスさんの引率で同大の学生十人が鳥羽なかまちで合宿をしながら制作活動行っただが、うち三人の新作がかどやに展示され、学生達も久々にやってきた。

愛は強い!

この夏の展示作品の裏には、強い家族愛があり、心動かされた。

筆ペンアートの美光さんが綴る言葉には感謝の言葉が溢れていたが、なぜここまで前向きになれるのだろうと不思議だった。しかし、お母様の美光さんへの接し方を見るにつけ、その謎が解けた。お母様はさりげなく寄り添い、笑顔を絶やさず、大きな愛で娘を支えていた。美光さんもその愛を感謝を持って受け止めていたからこそ、どんな時にも感謝を忘れない心の強さが備わったのだろう。美光さんの作品からはそんな愛が伝わってきた。

早田さんには二人の娘さんがいるが、この二人の家族愛にも圧倒された。百点以上もの作品の搬入・搬出には猛暑にも関わらず職場の仲間等十人が駆けつけた。集客力も半端ではなかった。知人・友人にはこまめにお誘いの案内を出し、週末には見学者用にクーラーボックスに冷えた飲み物まで準備していた。

残念ながらお盆まではあまりの暑さに見学者は少なかったが、涼しくなった後半の週末には娘さんの知人を含むお客様が途切れることなく見に来られ、三人は昼食をとる時間もなく、丁寧に対応していた。孜さんは米寿を迎えてもかくしゃくとしていたが、父をさりげなくいたわる二人の献身的な姿が微笑ましかった。

《朗読とピアノの素敵なコラボ》

七月二十九日の昼下がりにコンサートは、朗読とピアノのコラボによるリーディングコンサートだった。志摩市在住の善積智子さんの朗読に、同じく志摩市の西尾俊子さんがピアノ(キーボード)を担当した。

プログラムの前半は、ウルマス・シマスク作曲「星の組曲」に合わせて谷川俊太郎氏が書き下ろした詩を、後半には佐野洋子氏の絵本「だつてだつてのおばあさん」を朗読した。後半に演奏された曲は、善積さんが西尾さんと相談しながら本の内容に合わせてメヌエットやオリジナル曲等を選択した。



おしゃれでさわやかな構成に参加者の一人は「目を閉じて聴いていると、情景が思い浮かんできて、とても素敵な時間でした」と話してくれた。

《朗読会目白押し！三重テレビの人気アナも登場》

朗読女子LUCERIEリーディング公演 江戸川乱歩「ひとでなしの恋」が十月十四日(日)に行われる。読み手は三重テレビ「とつてもワクドキ」でお馴染みのフリーアナウンサー稲葉寿美さんだ。昨年、知人の展示

を見にかどやを訪れた時、今回の構想が浮かんだそうだ。稲葉さんを囲んでのアフタートークもある。

午後一時と四時の二回公演で、入場料は二千円(アフタートークはソフドドリンク付)。チケットはかどやでも販売中。奮ってご参加を。

また、十一月十八日(日)午後一時半からは志摩市を中心に活動している「朗読の会 花笑み」による朗読会が開かれる。読書の秋にふさわしいプログラムに、是非ご参加を！

鳥羽高生、かどやで修行中！

県立鳥羽高校三年のケイ君とハル君が四月から十一月まで計十五回、かどやで社会体験実習をしている。

初めは学校気分が抜けずふたりでふざけていたこともあったが、そんな時は、二人を受け入れたかどやの覚悟を伝えたところ、以後ヒシッと背筋が伸びた。

かどや学芸員のカヨさんは、鳥羽の歴史に疎いふたりを目の当たりにして教師魂に火が付き、午前中は鳥羽市教育委員会発行の名著『とぼつこ探偵団』を使い、フィールドワークを交えながら鳥羽の歴史を教えてくれている。五月には岡チヨコさんの展示を手伝い、プロの厳しい仕事ぶりも体験した。掃除を含む雑用も多いが、手を抜くと早速注意が飛ぶ。それらを素直に吸収していく彼らの成長ぶりは目を見張るものがある。もう一息、頑張れ！

◆◆貸部屋の案内◆◆

かどやを有効にご活用いただくとうと、一部の部屋を貸部屋として貸し出しています。茶話会や勉強会、展示会などにご活用ください。詳細は、かどやへ。

電話〇五九九―二五―八六八六

時間区分 部屋	午前	午後	全日	冷暖房設備 利用料
	10時～12時	13時～16時	10時～16時	
座敷南(10畳)	500円	600円	1,000円	500円
座敷北(8畳)	400円	500円	900円	—
仏間(6畳)	300円	400円	700円	—

- ・営利目的の場合は、料金表の10割増しとなります。
- ・鳥羽市民または市内勤務者以外の利用は、料金表の5割増しとなります。
- ・許可された使用時間を超過する場合は、割増料金が発生します。
- ・冷暖房費は、全日使用の場合は2倍になります。

かどや保存会 平成30年度会員募集中！

かどや保存会は、歴史的文化財である「鳥羽大庄屋かどや」の保存ならびに効果的な活用・運営をめざして活動を続けており、当会を支援して下さる会員を募集しています。

お陰さまで29年度は331名の方々が会員登録され、本年度も9月15日現在で317名の方にご登録いただきました。30年度も一人でも多くの方々に楽しんでいただけるよう、更にこの輪を広げたいと思います。ご登録がまだの方は是非ご登録・ご支援くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

30年度(H30/4/1～H31/3/31)の年会費(1口2,000円)は、継続・新規を問わず、以下の方法で納入ください。

- (1)手渡し：かどやにお越しいただき、直接事務局にお支払いいただく。
- (2)銀行振込：郵便局 普通 かどや保存会 00850-4-151751
百五銀行 普通 かどや保存会 801-460713